

スポーツチャンバラ

日本において遊戯として存在したチャンバラごっこと小太刀護身道を基にし、エアソフト剣という武器とアクリル製の面という防具によって安全性を確保した競技です。略称はスポチャン。

ルールはいたって簡単で、十分な威力で相手の身体のどこでも良いので剣で叩く（斬る）というもの。つまり、「どこを打ってもよいが、どこを打たれてもいけない」。

1人対1人で行う「対戦」から、1人対多人数、多人数対多人数といった多人数対戦の「乱戦」、より人数を増やして30人対30人や50人対50人の「合戦」といった対戦方式もあります。

また、より遊び心を付け加えた30人程度で行い、周りにはいる全員が敵と想定し戦う「サバイバル」（＝バトルロイヤル）があります。

用具は、面と剣、楯があり、剣は安全と公平さを期すため、全世界共通のエア（空気）を使うエアソフト剣。面は透明アクリル製フェイス、目や耳といった、衝撃に弱い部位を保護するように作られています。また、得物（武器）にも色々種類があり、短刀・小太刀・長剣・杖・棒・槍と、自分の好みのもので選ぶことができます。

※現在、久留米市が所有しているのは、小太刀だけです。



ルール

コートは6~9メートル四方の正方形。

主に1分一本勝負。しかし、決勝戦といった特別な場合は3分3本勝負となる。

コート内から両足が出たら「場外反則」となり、2回で反則負けとなる。しかし、剣を落とした場合にそのままでは負けてしまうと判断した時、あえて場外に出るといった作戦として使われる場合がある。

反則

両足がコートから出てしまうと「場外反則」となり、2回で反則負けとなる。

剣の柄（持つ部分）が相手にあたると危険行為として反則になる。

故意に蹴ったり、殴ったり、足を掛けたりすると反則。